

## 2021年度 第7回企画環境委員会 議事録

日 時 2022年2月17日(水) 15:00～17:00

会 場 WEB会議(ZOOM)

出席者 20名

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
東京	松本 一成	南関東	○ 清田 顕彦	東中国	清水 浩史郎
北海道	広川 太一	東京	西條 剛	西中国	宮下 香津恵
北東北	後藤 芳晴	東海	生川 恭道	四国	○ 開出 昭
南東北	福村 浩幸	北陸	林 忠宣	九州北	辻森 陽介
上信越	神林 英樹	近畿	安井 義幸	九州南	安座間 安由
東関東	小坂橋 聡	阪神	山口 善克		

<担当副会長> 小田島 綾子  
 <事務局> 特命部長:金澤 亨、特命部長:大谷 隆(記)  
 :委員長、○副委員長

### <委員会での決定事項>

- ・事業継続力強化計画、BCP策定、社労士診断認証制度の進捗を報告シートに基いて事務局へ漏れずに報告する。
- ・改めて、リスクマネジメント講座セミナー、YouTube動画の視聴を促す。

## 議 事

### 1. 挨拶

#### 1. 松本委員長挨拶

- ・本日も忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。
- ・残念ながら今年度最後の委員会もWEBとなってしまったが、3月末に向けて最後の追い込みとして進捗を確認していきたいと思う。特に三冠王に関連する項目については、数字の正確な把握が大事になってくるのでフォローをお願いしたい。
- ・本日はチャンネル間競争力がメインテーマになるが先日開催された第7回理事会において次年度の諮問事項の大枠が承認されたので、その点についても触れていきたい。企画環境委員会への諮問事項は今年度と大きく変わりはないが、「チャンネル間競争力強化」を「代理店の価値向上」と改め、リスクマネジメント講座、事業継続力強化計画、BCP策定の継続取組み、社労士診断認証制度を推進していくことになる。社労士診断認証制度は次年度三冠王の自主取組み項目に加わる予定である。また、今年度は不正募集や共通化・標準化が項目として分かれていたが、「募集現場の実態とモニタリングと対応策の実施」としてこれまでの取組みに加え、保険会社との関係性についても広く情報を吸い上げて検討していくことになると思う。
- ・次年度は今年度の取組みをほぼ継続していくことになるので、しっかりと次のメンバーに引き継いでいけるようお願いしたい。
- ・2時間ではあるが、活発な議論をしていきたい。

#### 2. 司会進行・議事録作成者の氏名

司会進行に清田副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

### ・報告事項・情報共有事項

## 1. 第7回 理事会報告

事務局より、配布した第7回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・審議事項は、2022年度事業計画への提言(12月理事会議案の追加審議)、2021年度臨時総会の開催形式・日程・運営・付議事項等、役員の定数ならびに資格審査委員会の設置および委員の選出の3項目について審議され承認された
- ・事業計画推進状況について、地域担当理事・各委員会担当理事より報告があった。

### ・審議事項

#### 1. チャネル競争力強化策(事業継続力強化計画認定制度)について

清田副委員長より、

- ・段階的にセミナーを広げるためにオンデマンド配信を行っているが、前回委員会から1名しか視聴していない(644名)。また、日本代協チャンネルで配信している動機付け動画も視聴が伸びていない状況である。作成状況は、2/16時点で578社(目標2,268社の約25.5%)と、こちらも伸び悩んでいる。
- ・今後の課題としては、動画で基礎的な事を理解していただくために視聴回数を増やしていくこと、認定に向けてサポートデスクの活用、書き方ガイドの活用等でフォローしていくことだと思う。
- ・申請してから認定を受けるまで30~40日かかるので、今から取り掛かっても年度末までの認定は難しいと思うので、本日は三冠王ニュースでの進捗差について、確認・報告しているのかどうか、確認方法について意見を聞いていきたい。

(主な意見・質問)

- ・南関東では、保険会社主導で認定を受けているケースが多く、漏らさず数値をカウントしている。
- ・四国はカウント・報告ができていないので改めてブロック協議会で報告を徹底する。
- ・南東北も実際把握している数値と乖離があるので報告ができていないのだと思う。
- ・日本代協から提示されている確認方法で集計してみたが、うまくできず手作業で突き合わせている。
- ・西中国では、一店ごとに電話で督促・確認を行っているが、報告が漏れてしまっている。
- ・愛知では委員長自らが認定を受けた書類を参考にしてもらいながら目標達成に動いており、事務局でも申請している。これをブロック協議会で情報共有して推進している。
- ・今週末に阪神ブロック協議会が開催されるので、数値報告を徹底する。
- ・東京は手作業で集計するのが困難であり、リストから保険代理店と思しき名前を拾い出し会員かどうかを事務局に確認してもらっている。また、企画環境委員自らが年度内に認定する決まりになっている。
- ・九州南はブロック協議会で集計方法を共有しているので、報告が漏れている。

今年度手探りではあったが、次年度も継続した取り組みになるので集計・報告をお願いしたい。

(松本委員長より補足)

- ・非常に難しい取り組みではあるが、工夫をしていただき感謝申し上げます。
- ・報告がない代協の数値は正会員実態調査の回答を反映しているので、皆様のエクセル能力を駆使して確認していただきたい。
- ・次年度の目標も20%にはなっているが、今年度達成した代協は25%が目標となる見込みである。
- ・オンラインセミナーは3月末まで開放しているので改めて情宣していただきたい。

## 2. チャネル競争力強化策(社労士診断認証制度)について

開出副委員長より

- ・次年度の三冠王項目に宣言企業 10%が追加されると思われるので、次年度に向けても取組みを強化していただきたい。
- ・これまで、段階的にセミナーを広げるためにオンデマンド配信を行っているが、前回委員会から1名しか視聴していない(399名)。また、日本代協チャンネルで配信している動機付け動画も視聴が伸びていない状況である。認証状況は、1月末の社労士連合会からの情報(業種を金融・保険業に絞ったリスト)では、宣言:156社、実施:7社、適合15社となっている。とりわけ三重県では適合4社、山口は宣言21社と進んでいるので取組み状況を発表していただきたい、あわせて、他ブロックでの取組みをヒアリングさせていただく。

(主な意見・質問)

- ・西中国では、まずは、理事・支部長に理事会等その場で申請してもらうように働きかけている。また、一般会員には社労士のホームページへの入り方を簡単なマニュアルを作成し配布、電話でフォローしている。ただ次のステップに行くのに、この制度を扱っていない社労士が多いのが課題。
- ・三重で適合企業が増えているのは、宣言会員に対してのフォローを行っている成果でまだ、増えていくと思うし、適合を受けた会員が未宣言の会員に呼びかけを行っている。
- ・自社でも、宣言はしているが提携している社労士にこの制度の資格がないので資格を取得してもらい次のステップへ進めていく。

(松本委員長より補足)

- ・来年度の三冠王項目に宣言企業 10%が入ると思うが、今年目標 30%は高すぎたのではないかとってはいる。
- ・社労士連合会から提供されている認証リストは業種が絞られているのでもう少し認証会員は多いと思う。まだ全体の数が少ないので他の業種については、WEB上で確認していただきたい。
- ・認知度がまだまだ低く、アンケート結果でも制度自体を知らないとの回答が多いので、改めてオンデマンド配信セミナーとYouTube動画の視聴を推進していただきたい。
- ・この制度を知らない社労士もまだ多いが、登録するのは簡単でありすぐ登録してもらえば扱い可能となる。
- ・また、事業継続力強化計画と違い宣言については日数掛からず認証されるので年度末に向けて追い込んでいただきたい。

## 3. チャネル競争力強化策(リスクマネジメント講座)について

松本委員長より

- ・12/20のセミナー後、オンデマンド配信により397名が動画を視聴しているが期間を延長(3月末まで)しているので再度視聴を促していただきたい。
- ・2/1日本代協アカデミー内でリスクマネジメント基礎講座がスタートし12名が申込んでいる。今回ゼロベースで講座を作っているため、申込み方法が複雑である等の気付きがあれば皆さんから真っ先に伝えていただきたい。
- ・以後毎月1講座ずつ新しくスタートさせる予定である(3/1リスク診断士講座)。
- ・動機付けセミナーをオンデマンド配信しているが、オミクロンが落ち着いて、各ブロックから要望があれば現地でもセミナーをやっていく予定であるので声をかけていただきたい。
- ・委員会メンバーでもほとんどの方が申込みをしていない状況だが推進していく上で是非申込んでいただいて意見・感想を伝えて欲しい。

(主な意見・質問)

- ・スタートしたばかりでブロック内での案内ができていない。課題として考えられるのはアカデミーの登

録が必須であることだが、現在はその登録でいっぱいである。

- ・教育委員会と連携してアカデミーの登録を増やさないと思う。また、リスク診断士取得のメリットをもう少しアピールできたら進むと思う。
- ・まずは、リスクマネジメントセミナーを視聴する機会を増やす必要があると思う。スタートしたばかりではあるが必要性を感じている会員にとっては有益なものである。
- ・企業を中心に営業している一部にしか響かないのではないかと感じている。
- ・店主(経営者)でなく法人担当の No2, No3 の募集人に取得してもらうよう働きかけようと思っている。
- ・ブロック内で説明はしたが、そのあと突っ込んだ推進ができていない。
- ・ジギョケイと社労士診断の推進が優先されていてあまり推進できていないが、教育委員会との連携が必要だと思う。
- ・リスクマネジメント講座の魅力を伝えて、アカデミー登録してもらうようブロックの委員会で話している。
- ・伝えていくには自分が申込んで受講してから伝えないと、しっかり伝わらないと思う(社労士診断でも自社が宣言することで伝えやすくなった)。
- ・アカデミー登録とリスクマネジメント講座受講と両面で進めていければと考えている。
- ・アカデミー登録している会員に本講座を進めていくよう各委員長と打合せしている。
- ・自分で YouTube 動画を何回か視聴したが一般会員と特別会員との費用負担が理解しきれていない。また募集人単位での申込みなので人数がいる代理店では負担が大きくなると思う。
- ・代協の魅力づくりのツールとして活用していきたい(他委員会との連携が重要)。
- ・危機感がない人は聞かないと思うのでセグメントして案内した方がいいのではないかと。年度明けからもう一度推進方法を討議した方が良いと思う。
- ・教育委員会と連携しアカデミー登録推進を併せて案内している。またMS社では、格上げ審査時に独自の教育カリキュラムとして日本代協アカデミーが認められている。

(松本委員長より補足)

- ・保険代理店は情報提供産業なので情報を仕入れることが重要であり、これまで保険会社から様々な情報を得ていたかもしれないが、独自の価値を付けるとなると自分から情報を取りに行くことが重要となると感じている。
- ・年度末に向けて三冠王項目の追い込みで忙しい時期ではあるし、リスクマネジメント講座はスタートダッシュで募集するものではないと考えているので地道に浸透させていければ良いと思っている。
- ・そのためにアカデミーとの相乗効果とか教育委員会との連携、保険会社を巻き込んだ活動など考えていきたいと思うので意見を上げていただきたい。

## ・その他情報提供・閉会

### 1. 情報提供

事務局より下記情報提供があった。

- ・事業継続強化計画において、今朝の報告で神奈川県代協は目標 91 店を達成した。
- ・リスクマネジメント講座を受講したいために代協に入会した好事例があるので教育だけではなく組織委員会との連携も重要である。
- ・3/2 第2回活力研を開催する。保険会社と代理店の間の課題解決の方向性(合併・統合、乗合承認申請・手続き、代手ポイント制度、保険会社と代理店の費用負担)を議論する予定。

### 2. 本日の到達点の確認

事務局より本日の決定事項の確認が行われた。

### 3. 小田島副会長閉会挨拶

- ・BCP の策定について、9代協が目標を達成しているのは凄いことです。策定の件数を見ると、北海道、東京、神奈川、大阪、福岡も素晴らしいと感じている。
- ・事業継続力強化計画については、神奈川代協の達成を聞いてホッとしたのと同時に大変な努力があったのではないかと考えている。この努力の後ろにある皆さんの思い・情報共有がコロナ禍でできなかったことが残念。もし、事業継続力強化計画認定された安心感や、BCP 策定の達成感の先の話で代協会員が共にできるようになれば認定の数値は増えるでしょう。この2年間で0からスタートすることの難しさを感じながらも委員の皆さんがコツコツと積み上げてきたことを次の委員に引継いでいただき、この取組がもっと活かたものになるよう、この取り組みは代理店の競争力であり、価値の向上であることを分かち合いながら先に進めていただきたい。
- ・難儀を掛けている中で、数字の評価ばかりになってしまう部分もあるが色々な人が心を熱くしてこの委員会を見ていると思うので頑張ってください。
- ・本日はお疲れさまでした。

以上

次回開催日 2022年4月8日(金) 13:00~17:00